

第193回寒中みそぎ祭り



天保2年（1831年）から続き、今年で193回目を数える神事「寒中みそぎ祭り」が1月13日から15日にかけて開催されました。今年のみそぎ行列や海中沐浴の観覧席設置などが行われましたが、ステージイベントや物販は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

四人の行修者は13日の「参籠報告祭」から佐女川神社に籠り、幾度となく水垢離を行い、厳しい鍛錬を行っていました。

15日はみそぎ浜に大勢の人が見守るなか、ご神体を抱いた行修者が厳寒の津軽海峡に飛び込み、ご神体を清め、一年の豊漁豊作を祈願しました。

その後、行修者は佐女川神社に戻り、みそぎが無事終了したことを報告する「本祭」を行い、今年のみそぎ祭り」は終了しました。